

環境管理

野生動物(イノシシ)を『寄せ付けない』ために

農作物への被害を減らすのはもちろん、集落周辺で人的被害を出さないようにするため、まずは野生動物が出没する環境を改善しましょう

集落がイノシシの **リゾートホテル** になっていませんか？



対策 ① 隠れ場所をなくす

耕作放棄地や竹林などの藪(やぶ)を刈り払い、見通しを良くしましょう。

対策 ② エサを与えない

イノシシの一番の目的=「食べ物(エサ)」をなくしましょう。

※集落には人が食べられて「困るエサ」と「困らないエサ」がありますが、イノシシにはどちらも**ごちそう**です。

対策 ③ 人とイノシシのすみ分け

電気柵や金網柵などの防護柵を設置して、イノシシが出てこれないようにしましょう。

※柵の外側の見通しを良くすると、管理がしやすくなり、柵の効果も高まります。



エサとなるものの例

◎人が食べられて困るエサ

- ・水稲、野菜、果樹などの農作物
- ・家畜の飼料やペットのエサ
- ・公園等の芝生(根やミミズ)など

◎人が食べられても困らないエサ

- ・収穫されずに放置されている農作物や収穫残さ (ひこばえ(2番穂)を含む)
- ・カキ、クリなどの放任果樹
- ・ドングリなどの堅果類
- ・お墓のお供え物
- ・生ごみ、雑草、昆虫 など

イノシシの目線で対策を考えよう